

令和3年8月11日から15日にかけての前線による大雨について (鳥取県の気象速報)

この資料は速報として取り急ぎまとめたものです。そのため、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

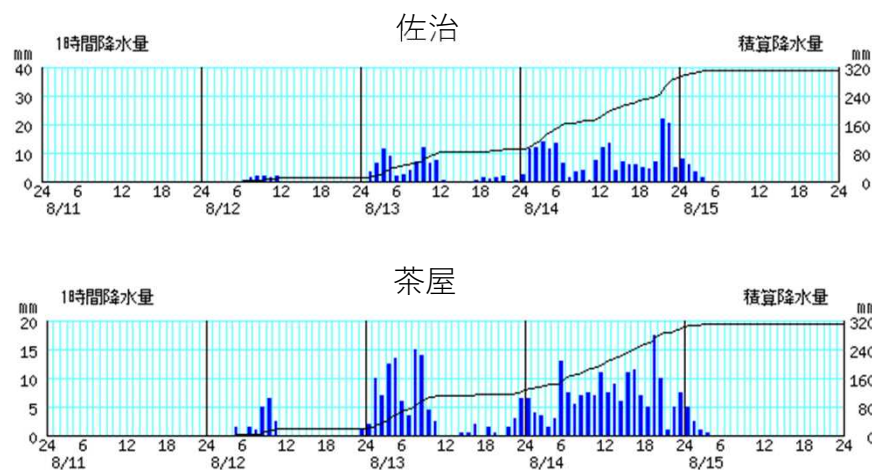
概要

11日に中国大陸から東シナ海を通して九州南部にかけて停滞していた前線は、12日には中国地方まで北上し、15日にかけて西日本付近に停滞しました。前線に向かって流れ込む暖かく湿った空気の影響で、鳥取県では山地を中心に300ミリを超える大雨となり、長期間の降雨により土壌雨量指数が上昇し、東部、西部地域で土砂災害警戒情報を発表しました。

鳥取県では、最大24時間降水量が智頭（208.5ミリ、15日01時10分）、若桜（196.0ミリ、15日02時00分）、日南町茶屋（176.0ミリ、14日23時20分）などの地点で、最大48時間降水量が鳥取市佐治（291.5ミリ、15日02時20分）、日南町茶屋（285.0ミリ、15日00時50分）、智頭（283.5ミリ、15日02時10分）などの地点で、最大72時間降水量が日南町茶屋（309.5ミリ、15日04時30分）、鳥取市佐治（309.0ミリ、15日06時10分）、智頭（301.5ミリ、15日06時40分）などの地点で、8月の1位の値を更新しました。観測値の詳細は、気象庁ホームページ「特定期間の気象データ」（下記のURL）などに掲載しています。

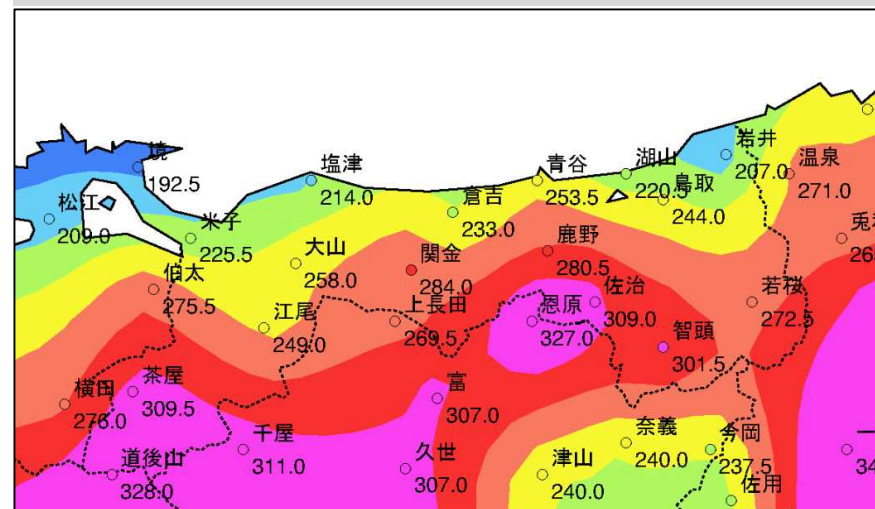
URL https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/periodstat/20210811a/20210816/24/pre24h_mx00.html#a69

アメダス時系列グラフ(11日00時～15日24時)

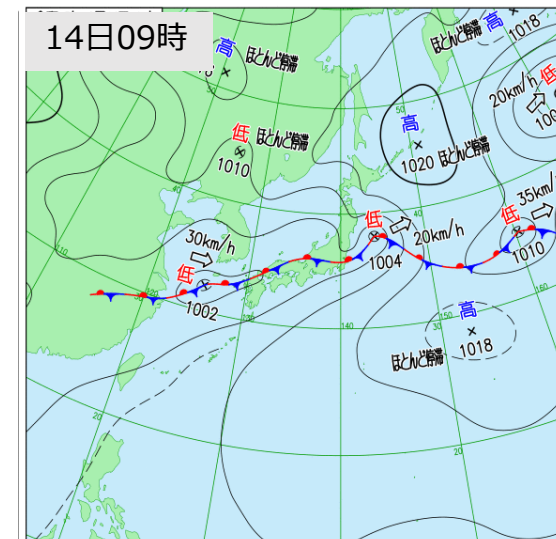
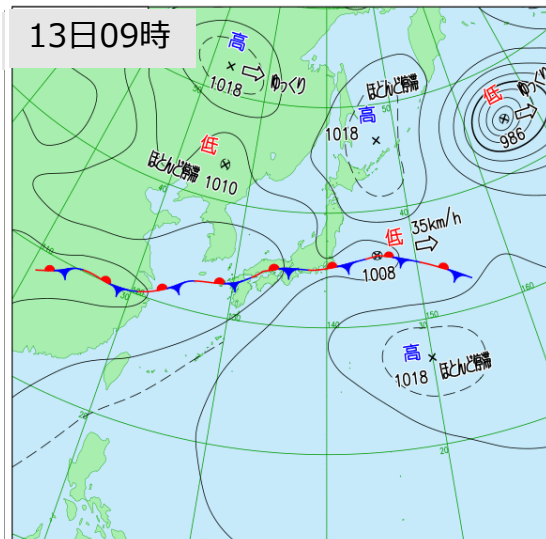
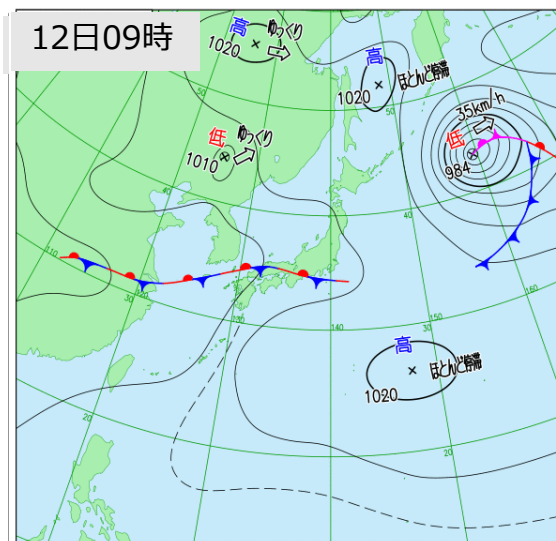


※横軸は時刻を示す。
※棒グラフは1時間降水量（左軸）、折れ線グラフは積算降水量（右軸）を示す。単位はmm。

アメダス期間降水量(11日00時～15日24時)



地上天気図



レーダー画像

